

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	9 教育費	課・係名																												
基本目標		文化が薫るいきいきとした村づくり	施策	暮らしに基づく文化活動の拡大と振興		項	4 社会教育費	生涯学習課																										
				目	2 公民館費	生涯学習係																												
事業通番	事業名	公民館運営事業		予算額			決算額																											
194201				当初予算額	増減額	予算現額																												
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や生活の課題に取り組み、自主的な学習の場の創出。 ・分館活動を中心に、地域の文化や伝統行事を継承し、様々な活動を推進・支援。 ・子どもからお年寄りまで参加できるレクリエーション活動を支援し、健康づくりとふれあいの場の提供を行う。 	事業費		4,619	▲ 1,458	3,161	事業費	2,940																										
		財源内訳	国庫支出金		0			国庫支出金																										
			県支出金		0			県支出金																										
			地方債		0			地方債																										
			その他		0			その他																										
			一般財源	4,619	▲ 1,458	3,161	一般財源	2,940																										
事業の内容及び成果・今後の課題																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>事業費(円)</th> <th>内容・成果</th> <th>今後の課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>1,510,642</td> <td>①公民館長報酬942,830円、期末手当242,372円、通勤手当10,840円 ②館報編集委員報酬117,000円 ③公民館専門部員報酬197,600円</td> <td rowspan="7">高齢化や世帯数の減少により、分館活動の縮小化と公民館活動への参加者が減少してきている。誰も等しく公民館事業を享受できる方策の検討が必要。(子育て支援課、民生課、社会福祉協議会との連携)</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>349,909</td> <td>公民館長社会保険料349,909円</td> </tr> <tr> <td>印刷代等</td> <td>312,448</td> <td>公民館報印刷代309,448円、資料代3,000円</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>231,580</td> <td>公民館総合補償制度加入料231,580円</td> </tr> <tr> <td>負担金及び交付金</td> <td>523,500</td> <td>分館交付金450,000円、中高飯水公運協負担金14,500円 全民連負担金5,000円、芸文教負担金54,000円</td> </tr> <tr> <td>消耗品他</td> <td>11,464</td> <td>事務消耗品</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,939,543</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									内容	事業費(円)	内容・成果	今後の課題	報酬	1,510,642	①公民館長報酬942,830円、期末手当242,372円、通勤手当10,840円 ②館報編集委員報酬117,000円 ③公民館専門部員報酬197,600円	高齢化や世帯数の減少により、分館活動の縮小化と公民館活動への参加者が減少してきている。誰も等しく公民館事業を享受できる方策の検討が必要。(子育て支援課、民生課、社会福祉協議会との連携)	共済費	349,909	公民館長社会保険料349,909円	印刷代等	312,448	公民館報印刷代309,448円、資料代3,000円	保険料	231,580	公民館総合補償制度加入料231,580円	負担金及び交付金	523,500	分館交付金450,000円、中高飯水公運協負担金14,500円 全民連負担金5,000円、芸文教負担金54,000円	消耗品他	11,464	事務消耗品	合計	2,939,543	
内容	事業費(円)	内容・成果	今後の課題																															
報酬	1,510,642	①公民館長報酬942,830円、期末手当242,372円、通勤手当10,840円 ②館報編集委員報酬117,000円 ③公民館専門部員報酬197,600円	高齢化や世帯数の減少により、分館活動の縮小化と公民館活動への参加者が減少してきている。誰も等しく公民館事業を享受できる方策の検討が必要。(子育て支援課、民生課、社会福祉協議会との連携)																															
共済費	349,909	公民館長社会保険料349,909円																																
印刷代等	312,448	公民館報印刷代309,448円、資料代3,000円																																
保険料	231,580	公民館総合補償制度加入料231,580円																																
負担金及び交付金	523,500	分館交付金450,000円、中高飯水公運協負担金14,500円 全民連負担金5,000円、芸文教負担金54,000円																																
消耗品他	11,464	事務消耗品																																
合計	2,939,543																																	

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	公民館報の発行（毎月発行 年12回）					回	12	12	100%	B	少子高齢化の進展と共に、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの少人数世帯が増加する中で。地域コミュニティの再生は喫緊の課題となっている。地域社会を支える若年層の地域活動への参加促進と活性化に向けた取り組みが急務と考える。
	分館活動の支援・交付金の交付					回	26	26	100%		
	文化振興団体活動支援のための補助金（芸文協）					回	1	1	100%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	9	教育費	課・係名	
基本目標		計画に記載なし		施策		項	4	社会教育費	生涯学習課	
						目	2	公民館費	生涯学習係	
事業通番	事業名	夏祭り			予算額			決算額		
194202					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・盆前の恒例行事であり、地域コミュニティ、伝統文化継承の場として開催する。 ・夏まつりを通じて、地域住民相互及び姉妹都市調布市とのふれあいと連帯感を培う。 			事業費	1,339	▲ 238	1,101	事業費	903
					財源内訳			財源内訳		
					国庫支出金		0	国庫支出金		
					県支出金		0	県支出金		
					地方債		0	地方債		
					その他		0	その他		
					一般財源	1,339	▲ 238	1,101	一般財源	903
事業の内容及び成果・今後の課題										
内容		事業費(円)	内容・成果			今後の課題				
花火打ち上げに伴う費用		903,444	夏祭りに代わる花火打ち上げに伴う費用 899,044円 広報折込手数料 4,400円			区の参加が半数のみとなっており、イベント内容の見直しが必要と考える。区への案内はもちろんのことだが、村民一人ひとりが思い出に残るような企画立案を検討していく。				
合計		903,444								
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
	夏なつりの開催			回	1	0	0%	B	コロナ禍であることを理由に令和2年度の夏まつりがちゅうしとなってしまったことを考慮して、昨年度も夏まつりの開催の代わりに打ち上げ花火のみを実施することになった。夏まつりへの区の参加は減少しているが、会場に花火を見に来られた方もおられ、触れ合いの場としての需要は引き続きあるものと思われる。	
							#DIV/0!			
							#DIV/0!			
評価委員評価										
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	村だけでなく、多くの村民を巻き込んだイベントにできないものか 公民館事業として行うとすれば、引続き分館参加の呼びかけを願う。						
公平性	C									
有効性	C									
効率性	C									

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	9	教育費	課・係名
基本目標		計画に記載なし		施策		項	4	社会教育費	生涯学習課
						目	2	公民館費	生涯学習係
事業通番	事業名	成人式	予算額			決算額			
194203			当初予算額	増減額	予算現額				
	事業目的	村主催の成人の集いの開催を通して、郷土愛を醸成する。	事業費	220	9	229	事業費	205	
			財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金	
				県支出金		0		県支出金	
				地方債		0		地方債	
				その他		0		その他	
				一般財源	220	9	229	一般財源	205
事業の内容及び成果・今後の課題									
	内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題			
	記念品代	205,250	成人式参加者への記念品 ふくさ@2,750円×55人=151,250円、集合写真@1,000円×43人=43,000円、祝花購入11,000円			記念品について、クオカードではない地元に沿ったものを用意すべきではとの意見があったので、検討していく。また、法改正による事業名称を「二十歳を祝う会」へ変更する。			
	合計	205,250							
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	成人式の開催			回	1	1	100%	A	新型コロナの影響はあったが、事前の抗原検査や、来賓等の人数を最低限に絞るなど対策を行い、開催することができた。 R4出席者：41名
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
評価委員評価									
公共性	A	総合評価 (妥当性)	B						
公平性	B								
有効性	B								
効率性	B								

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	9	教育費	課・係名		
基本目標		ふれあいと交流ができる村づくり		施策	生涯学習の推進		項	4	社会教育費	生涯学習課	
						目	2	公民館費	生涯学習係		
事業通番	事業名	生涯学習事業				予算額			決算額		
194205						当初予算額	増減額	予算現額			
事業目的		生涯学習の各事業を通じ、知識教養を高め、仲間を作り、心身ともに健康で、心豊かな生涯をおくれるよう各種講座を開設する。 総合振興計画にある「みんなで楽しみをつくりだす村」に寄与する。 各機関連携し、次世代の育成に努める。				事業費	971	15	986	事業費	638
		財源内訳				国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金
						県支出金		0			県支出金
						地方債		0			地方債
						その他		0			その他
						一般財源	971	15	986		一般財源
											56
											582
事業の内容及び成果・今後の課題											
内容		事業費(円)	内容・成果			今後の課題					
報酬		265,681	講師謝金265,681円			・各種講座へは一定の参加はあるが、全体的に年配の参加者が多い。子育て中の親や働く世代をターゲットに、社会ニーズに対応した機会の提供が求められる。 R4講座開催総数47回、延べ参加者数611人 民生課タイアップ事業（夏季92人/12回 冬季62人/13回）					
消耗品費		32,250	事務用消耗品12,707円、印刷代13,493円、教材費6,050円								
手数料		27,500	広報折込手数料27,500円								
委託料		312,400	プログラミング教育講座委託料								
合計		637,831									
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察		
	生涯学習講座の開催			回	60	47	78%	B	地域の文化や史跡をはじめ、村民のニーズに合わせた学習機会を提供することができた。人口減少や高齢化をはじめとする急速な社会経済環境の変化や取り組むべき課題の複雑化の中、「生涯学習」を基盤とした人づくり、つながりづくり、地域づくりがより一層重要と考える。		
	ステキなカラダをつくりま専科（民生課タイアップ事業）			回	25	25	100%				
							#DIV/0!				
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名	
基本目標		計画に記載なし		施策	項	4 社会教育費	生涯学習課	
					目	3 図書館費	生涯学習係	
事業通番	事業名	図書館	予算額			決算額		
194301	事業目的	住民の読書活動は、特に子どもにとって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにする欠かすことのできないものである。図書の貸出しや学習の場の提供により、住民の生涯学習活動の支援を図るとともに、より地域に密着した図書館づくりのため、啓発活動や普及活動を展開する。	事業費	3,458	増減額	2	予算現額	3,460
		財源内訳		国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金
				県支出金		0		県支出金
				地方債		0		地方債
				その他	1	0	1	その他
				一般財源	3,457	2	3,459	一般財源
								3,384
事業の内容及び成果・今後の課題								
■ 事業内容及び成果								
内容	事業費(円)	内容・成果						
司書報酬、図書委員報酬	1,811,709	司書報酬(期末手当、時間外含む) 1,699,909円、図書委員報酬7人分 111,800円						
需用費	125,332	月刊誌等、定期購読物購入費 61,446円、図書館消耗品購入費 63,886円						
役務費	100,140	インターネット回線費 52,800円、図書館相互貸借送料費 7,740円、図書館まつり広報折込料 4,400円 図書館システム保守点検費 35,200円						
司書委託	790,130	休日管理司書業務のシルバー人材センターへの委託費						
図書購入	556,815	図書館蔵書購入費						
合計	3,384,126							
■ 課題及び今後の取組								
<p>村民の読書活動、生涯学習活動、および児童生徒の学習活動に寄与するため、図書館まつりをはじめとしたイベントを実施し、利用者増加を図る。また、蔵書点検を定期的実施し、蔵書の整理と改善に努める。</p> <p>令和4年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵書冊数22,019冊、図書購入冊数311冊、雑誌購入数 72冊、貸出冊数 10,546冊、来館者数 4,769人(学習室利用含む) 学習室利用者数271人 								

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	図書館来館者（利用者）数					人	5466	4,769	87%	A	月替わりのおすすめ・テーマ本のスペース設定のほか、細かなイベントの開催を行った。貸出冊数は、来館者数ともに昨年度を下回っているが、図書館という空間の提供はこれまでどおりの運営が必要である。
	図書の貸出数					冊	12,187	10,546	87%		
									#DIV/0!		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款 9 教育費	課・係名		
基本目標		文化が薫るいきいきとした村づくり	施策	文化財の保存と活用の推進	項 4 社会教育費	生涯学習課	
					目 5 文化財保護費	生涯学習係	
事業通番 194501	事業名	指定文化財保護事業		予算額		決算額	
	事業目的	指定文化財を後世に引き継ぐため、保護・活用していく。	事業費	当初予算額	増減額	予算現額	
			1,497	▲ 59	1,438	事業費	
			国庫支出金		0	国庫支出金	
			県支出金		0	県支出金	
			地方債		0	地方債	
			その他		0	その他	
			一般財源	1,497	▲ 59	1,438	一般財源
事業の内容及び成果・今後の課題							
■ 事業内容及び成果							
内容	事業費(円)	内容・成果					
文化財調査専門幹の設置	1,095,120	文化財調査専門幹を設置し、村の歴史、文化財の理解を深める。1,095,120円					
文化財保護審議会・文化財専門委員会の開催	74,028	文化財保護審議会を開催し、保護や指定方針について諮る。文化財保護審議会委員報酬・・・40,000円 文化財専門委員会を開催し、史跡踏査や保全のパトロールを行う。・文化財専門委員謝金・・・34,028円					
指定文化財説明看板の更新等	161,700	村指定文化財の説明看板を更新 ・村指定文化財説明看板取替工事・・・62,700円 ・西国街道1番観音覆い屋根修繕99,000円					
その他	9,200	文化財保護材料費・・・2,200円、負担金・・・7,000円					
合計	1,340,048						
■ 課題及び今後の取組							
村指定文化財の説明看板が老朽化していることから、計画的に更新を行うとともに、風雪害により劣化・破損しやすい状態にあるため、史跡踏査や保全パトロールを行い適正な維持管理に努めていく。							

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	文化財保護事業					式	1	1	100%	B	R3年度末の強風により、被害を受けた看板を復旧した。 新しい村指定文化財として2件を指定した。今後の進展が期される。
	文化財保護審議会・文化財専門委員会					回	1	1	100%		
	村指定文化財説明看板更新					回	1	1	100%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名		
基本目標		文化が薫るいきいきとした村づくり	施策	文化財の保存と活用の推進	項	4 社会教育費	生涯学習課		
事業通番					目	5 文化財保護費	生涯学習係		
194502					予算額			決算額	
事業名		文化財啓発事業			当初予算額		増減額		予算現額
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと資料館での展示により啓発につとめる。 ・講座を開設して歴史や文化財に対する理解を深める。 ・文化財資料の適正な管理につとめる。 ・寄付金を活用し「木島平検定」の冊子を作製し、村内にある歴史や文化財等の周知を図るとともに、村民一人ひとりの文化財に関する知識の醸成を図る。 	事業費	597	60	657	事業費	431		
		財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金	
		県支出金		0			県支出金		
		地方債		0			地方債		
		その他	10	0	10	その他	23		
		一般財源	587	60	647	一般財源	408		
事業の内容及び成果・今後の課題									
内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題				
講座・講演会	11,137	講演会を開催し、地域の歴史や文化財を中心に学びを深める。 ・歴史講演会・・・11,137円（講師謝金1名）			文化財ガイドブックや木島平村文化財検定を活用し、村の歴史や文化財の普及啓発に向けたイベント等の企画運営に向けた取組みが重要と考える。				
パンフレット等印刷製本費	258,000	文化財ガイドブック⑧「妙高山信仰」300部 ・・・198,000円 宮城流和算秘伝書 江戸時代の馬曲の和算家・芳澤湖竹の巻物4巻 ・・・60,000円							
その他	162,514	展示・啓発用消耗品・・・・・・・・・・85,836円 大町倉庫関係・・・・・・・・・・76,678円 ・共済費・・・・・・・・16,678円 ・敷地賃借料・・・・60,000円			ふるさと資料館来館者数 74人 前年比176% 前年度来館者42人				
合計	431,651								

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	文化財啓発事業	式	1	1	100%	B	「妙高山信仰」に関してガイドブックを作成し、講演会を実施した。妙高市からも問い合わせがあり、村外への普及に寄与できたと思われる。				
	資料館収蔵資料を題材にした講演の開催	回	1	1	100%						
	文化財ガイドブックの刊行	式	1	1	100%						
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名					
基本目標		計画に記載なし	施策		項	4 社会教育費	生涯学習課					
					目	5 文化財保護費	生涯学習係					
事業通番 36605	事業名	埋蔵文化財調査事業			予算額			決算額				
	事業目的	・塚遺跡を核とした文化財の保存・活用につなげるべく、基本ベースとなる遺跡情報を再整理する。 ・R4年度に報告書の刊行を目指し、根塚遺跡の正しい理解につなげ、積極的に保存・活用の途を模索する。同時に、根塚遺跡の重要性を村内外に紹介していくため、国史跡指定の可能性も視野に教育・普及に務める。			事業費	2,210	321	2,531	事業費	2,380		
					財源内訳	国庫支出金	1,000	0	1,000	財源内訳	国庫支出金	1,000
						県支出金					県支出金	
						地方債					地方債	
						その他					その他	
						一般財源	1,210	321	1,531		一般財源	1,380
事業の内容及び成果・今後の課題												
■ 事業内容及び成果												
内容		事業費(円)	内容・成果				今後の課題					
根塚遺跡再整理(補助対象)経費		2,308,870	調査員報酬(3名)・・・303,288円 ・報酬・・・281,988円 ・通勤手当・・・21,300円 出土品調査協力者謝金(3名分)・・・60,000円 消耗品・・・28,682円 委託料・・・119,900円 郵便料・・・37,000円 印刷製本費・・・1,760,000円 「木島平村内弥生時代遺跡」調査報告書印刷製本事業				・国の文化財指定に向け業務を進めてきているが、根塚遺跡群としての登録、または部分的なものとして捉えた指定にかけるのか、方向性が未確定であることから、国や県等との情報交換、村としての方向性を早急に見出していかななくてはならない。					
根塚遺跡再整理(対象外)経費		70,900	招聘者宿泊費・・・70,900円									
合計		2,379,770										

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	埋蔵文化財調査事業「根塚遺跡調査事業」					式	1	1	100%	B	再整理によって得た基礎情報をまとめた。刊行した報告書は公的機関に配布予定。「三韓土器」や再整理成果は展示貸出や寄稿によって成果を発信している。
	調査成果報告書の発刊300部					式	1	1	100%		
	再整理成果の発信					式	1	1	100%		
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名	
基本目標		計画に記載なし	施策		項	5 保健体育費	生涯学習課	
					目	1 保健体育総務費	生涯学習係	
事業通番 195103	事業名	保健体育補助事業			予算額			決算額
	事業目的	各種体育関連の団体に対し補助金を交付し活動促進を図る。			当初予算額	増減額	予算現額	事業費 243
		事業費	513	0	513	事業費	243	
		財源内訳				財源内訳		
		国庫支出金		0		国庫支出金		
		県支出金		0		県支出金		
		地方債		0		地方債		
		その他	1	0	1	その他	2	
		一般財源	512	0	512	一般財源	241	
事業の内容及び成果・今後の課題								
	内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題			
	中高駅伝協会負担金	42,860	例年、中高駅伝協会にて県縦断駅伝・高社山一周駅伝大会を行っているが、令和4年度は新型コロナの影響で県縦断駅伝の日程を見直し、宿泊を伴わないものとなった。 中高駅伝協会への負担金：42,860円 ※イベント見直しによる2,330円返還		中高地区の各市町村との広域的な取り組みが必要			
	村スポーツ協会補助金	200,000	コロナ禍の制限の下、できる範囲での活動を実施した。 村スポーツ協会に対して活動補助金：200,000円		スポーツ協会において各クラブ員の高齢化・減少が進んでおり、各クラブの継続が困難になってきている団体が現れてきている。			
	合計	242,860						

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み	単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	補助金の交付	式	1	1	100%	B	withコロナの考えの下、中高駅伝協会もスポーツ協会の活動もできるようになってきた。コロナ禍で一度行わなかった活動の再開に苦心している会員が一定数いる様子。
					#DIV/0!		
					#DIV/0!		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名		
基本目標		計画に記載なし		施策		項	5 保健体育費	生涯学習課	
						目	2 体育振興費	生涯学習係	
事業通番	事業名	体育振興費			予算額			決算額	
195201					当初予算額	増減額	予算現額		
	事業目的	体育活動に必要な車輛の整備及び上部大会参加者への補助事業の実施により村体育振興の充実を図る。			事業費	1,928	▲ 177	1,751	事業費 1,089
		財源内訳	国庫支出金		0			財源内訳	国庫支出金
			県支出金		0			財源内訳	県支出金
			地方債		0			財源内訳	地方債
			その他	30	0	30		財源内訳	その他
			一般財源	1,898	▲ 177	1,721		財源内訳	一般財源 1,089
事業の内容及び成果・今後の課題									
	内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題			
	体育支援車両（マイクロ・ハイエース）の管理	671,849	体育支援車両の管理を行う ・燃料（軽油）代：36,615円 ・修繕費：33,000円 ・共済分担金：92,150円 ・車検代：153,574円 ・リース料：356,510円			適正な管理が必要。			
			スポーツ分野で国際的、又は全国的に活躍する者の強化を図るため、国内外の大会へ出場及び強化合宿等への参加に要する経費に対して補助金を交付した ・スポーツ指導者資格取得助成金（陸上）2件：各7,700円＝15,400円			スキー以外の競技においても、活躍できる選手を増やす必要がある。			

スポーツ選手強化補助金	365,400	<ul style="list-style-type: none"> ・JOCジュニアオリンピックカップ2023全日本ジュニアスキー選手権大会（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）出場選手6名：各40,000円＝240,000円 ・JOCジュニアオリンピックカップ2023全日本ジュニアスキー選手権大会（クロスカントリー フリー・クラシカル）出場選手3名：各30,000円＝90,000円 ・第71回全国高等学校スキー大会（インターハイ）（クロスカントリー フリー・クラシカル・リレー）出場選手1名：10,000円 ・全国中学校スキー大会出場選手1名：10,000円 	
村民ゴルフ大会	5,500	村民ゴルフ大会開催にあたってのチラシ折込代（参加者21人）（その他景品等にかかる経費は、参加者からの参加料にて賄った）	参加者の固定化が進んでいる。自主運営に向けた取り組みを実施していきたい。
AC長野パルセイロホームタウン事業	5,980	木島平村にもホームを置くAC長野パルセイロの選手との交流を通して、子どもたちにスポーツの楽しさやコミュニケーションの大切さなどを感じてもらえた。小学校稲刈り等土産代：5,980円	子どもたちのAC長野パルセイロへの認識が深まることにより、なかなか機会の得られない貴重な体験であることが分かるようになるため、定期的な開催が必要。
スポーツイベント用消耗品の購入	40,053	感染症対策物品をはじめとしたスポーツイベント実施にかかる消耗品の購入費用 その他物品（賞状・応急処置用物品等）：40,053円	例年のイベント開催に比べ、感染症対策として必要となる物品が増加している。
調布市民駅伝競走大会	0	村内選手に調布市民駅伝競走大会へ出場してもらい、調布市とのスポーツ交流を行う予定であったが、新型コロナの影響から中止となった。	大会に出場する選手の募集の仕方を工夫し、多くの村内選手が出場できるようにする必要がある。
合計	1,088,782		

目的達成に向けた具体的な取り組み		単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
指 標	姉妹都市スポーツ交流（調布市民駅伝大会）	回	1	0	0%	B	村民運動会、調布市民駅伝はコロナで中止（不参加）。少年野球はR3から自主運営移行のため今後実施予定なし。 スポ推の変更もないためリーダー研修への参加もなし。 コロナ対策を行い、場合によっては一部制限のうえスポーツイベントを実施した。
	スポーツ強化補助金	回	1	11	1100%		
	スポーツリーダー研修への参加	回	1	0	0%		
	村民スポーツフェスティバル	回	1	1	100%		
	高校野球木島平トーナメント戦（4校参加）	回	1	1	100%		
	村民運動会	回	1	0	0%		
	市町村対抗駅伝競走大会（小学生、一般の部参加）	回	1	1	100%		
	少年野球木島平大会	回	1	0	0%		
	評価委員評価						
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B				
公平性	B						
有効性	B						
効率性	B						

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名																
基本目標		計画に記載なし	施策		項	5 保健体育費	生涯学習課																
				目	2 体育振興費	生涯学習係																	
事業通番	事業名	高校野球木島平トーナメント戦			予算額			決算額															
195203					当初予算額	増減額	予算現額																
事業目的	北信地域全体の高校野球のレベルの向上、選手の育成を目的とする。	事業費		202	0	202	事業費	185															
		財源内訳	国庫支出金			0		国庫支出金															
			県支出金			0		県支出金															
			地方債			0		地方債															
			その他	20	0	20		その他															
			一般財源	182	0	182		一般財源	185														
事業の内容及び成果・今後の課題																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>事業費(円)</th> <th colspan="2">内容・成果</th> <th>今後の課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校野球木島平トーナメント戦</td> <td>185,420</td> <td>各種謝金 71,037円 消耗品費 94,383円 保険料 20,000円</td> <td></td> <td>感染症対策に配慮した開催方法を検討する必要がある。実施主体が不明確になっている。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>185,420</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題	高校野球木島平トーナメント戦	185,420	各種謝金 71,037円 消耗品費 94,383円 保険料 20,000円		感染症対策に配慮した開催方法を検討する必要がある。実施主体が不明確になっている。	合計	185,420			
内容	事業費(円)	内容・成果		今後の課題																			
高校野球木島平トーナメント戦	185,420	各種謝金 71,037円 消耗品費 94,383円 保険料 20,000円		感染症対策に配慮した開催方法を検討する必要がある。実施主体が不明確になっている。																			
合計	185,420																						
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察 いくつかの参加チームからメイン会場の安全性への危惧や、開催時期について再度検討をしてもらいたい旨の要望が寄せられているため。														
	大会の開催			回	1	1	100%	C															
							#DIV/0!																
							#DIV/0!																
評価委員評価																							
公共性	C	総合評価 (妥当性)	D	参加校の減少もあり、役目は終わった感がある 初期目的は達成した。施設条件等から廃止検討																			
公平性	C																						
有効性	D																						
効率性	D																						

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名			
基本目標		計画に記載なし		施策	項	5 保健体育費	生涯学習課			
					目	2 体育振興費	生涯学習係			
事業通番	事業名	スキー振興事業			予算額			決算額		
195205					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	村のスキー振興及びジュニア選手の育成を図る。			事業費	3,860	50	3,910	事業費	3,789
		財源内訳	国庫支出金			0		財源内訳	国庫支出金	
			県支出金			0		財源内訳	県支出金	
			地方債			0		財源内訳	地方債	
			その他			0	0	財源内訳	その他	480
			一般財源	3,860	50	3,910		財源内訳	一般財源	3,309
事業の内容及び成果・今後の課題										
	内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題				
	大会運営業務委託	2,250,000	村内における各スキー大会の運営を業務委託しながら実施。 特にノルディック大会においては、toto（スポーツ振興くじ）を活用し、480千円の助成金を得ることができた。 ノルディック大会（参加選手1,046人）運営委託：750,000円 ジュニアスキー大会委託（ジャンプ（参加選手68人）・クロス（参加選手317人）・アルペン（参加選手207人））：1,500,000円			小学校統合による効果で、クロスカントリーについては、小学校スキー部クロス班は、有力なスキーチームとなっている一方で、ジャンプ・アルペンの選手の減少が続いてきていたが、近年増加傾向となっている。今後も地域特性を活かしたスキースポーツに親しむ人口を（競技だけでなくレクリエーション含めて）増やしていくための施策が必要と考える。				
	ジュニア選手育成のための補助	1,415,000	スキー競技の選手育成のために、補助金を支出 ジュニアスキー強化補助金：1,350,000円 ジュニアジャンプ選手育成用具補助金：65,000円							
	公認料	123,614	国際・全日本・長野県スキー連盟から公認をいただくことで、高い水準を満たした大会・施設であることを村内外にアピールできる。 SAN公認大会公認料：40,000円 SAJ公認競技会公認料：30,000円 FIS公認大会カレンダーフィー：13,614円 スキー競技施設公認料（2施設）：40,000円							
	合計	3,788,614								

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					担当評価	評価の根拠・説明・考察
	サマーノルディック大会（ローラー・マラソン）	回	1	1	100%	B	コロナ対策を行いながら各スキー大会を実施。地元の子どもたちを含めて多くの方にご参加いただき大会を運営することができた。特にスキー競技で全国大会に出場する選手を多く輩出しているため、一定の効果はあると思われる。
	ジュニアジャンプ大会	回	1	1	100%		
	クロスカントリー大会	回	1	1	100%		
	ジュニア大回転スキー大会	回	1	1	100%		
	スキー振興事業補助金	件	1	1	100%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	3 民生費	課・係名				
基本目標		活力いっぱいの集落・村づくり	施策	人権が尊重される村づくりの推進		項	1 社会福祉費	生涯学習課		
				目	5 人権推進費	生涯学習係				
事業通番 131503	事業名	人権推進費		予算額			決算額			
	事業目的	・同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けた施策の推進に取り組む。		事業費	1,485	▲ 150	1,335	事業費	1,125	
		財源内訳	国庫支出金			0		財源内訳	国庫支出金	
			県支出金			0		財源内訳	県支出金	
			地方債			0		財源内訳	地方債	
			その他			0		財源内訳	その他	
			一般財源	1,485	▲ 150	1,335		財源内訳	一般財源	1,125
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
	内容	事業費(円)	内容・成果				今後の課題			
	人権擁護審議会委員報酬	193,500	人権擁護審議会委員報酬 会長@56,700円、委員@17,100×8人				様々な人権啓発活動に努めてきているが、これまでとは違った差別も出てきている。インターネット上での誹謗中傷や、新型コロナウイルスをはじめとする感染症への差別など、新しい対策について検討していかなければならない。そのためにも村民の皆様に意識の啓発をするとともに、対策について学んでいく必要がある。			
	差別をなくす村民大会講師謝金	276,000	差別をなくす村民大会の講師謝金							
	需用費	20,000	第54回東日本研究集会参加資料代@4,000円×2人=8,000円 第59回長野県部落解放研究集会参加資料代 12,000円							
	役務費	4,400	差別をなくす村民大会チラシ折込							
	使用料及び賃借料	3,484	研修視察（見学費用1,984円・駐車場代1,500円）							

各人権団体への補助金及び負担金、部落問題学習講座への参加費	628,222	部落解放同盟補助金（中高地区協議会273,997円、木島平支部280,000円）、部落解放人権確立要求木島平村実行委員会35,000円、飯山人権擁護委員協議会助成金11,225円、犯罪被害者支援活動支援金8,000円。人権リーダー養成・部落問題講座参加費20,000円
合計	1,125,606	

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み				単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	人権センターを拠点とした各教室（絵手紙、習字、水墨画）の開催	回	30	25	83%	A	コロナ禍であることを踏まえ、ふう太ネットを活用したテレビ広報、広報への記事掲載を実施。差別をなくす村民大会においては、リスクを低減させるために、参加人数を絞って開催を行った。			
	隣保館事業の基本事業に基づく、啓発・広報事業	回	10	6	60%					
	差別をなくす村民大会の開催（参加人数）	人	150	77	51%					

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名				
基本目標		活力いっぱいの集落・村づくり	施策	人権が尊重される村づくりの推進	項	4 社会教育費	生涯学習課				
					目	4 社会人権同和教育費	生涯学習係				
事業通番	事業名	人権教育促進事業			予算額			決算額			
194402				当初予算額	増減額	予算現額					
	事業目的	・ 同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けた施策に取組む。			事業費	335	0	335	事業費	221	
			財源内訳	国庫支出金			0		財源内訳	国庫支出金	
				県支出金	100		0	100		県支出金	100
				地方債			0			地方債	
				その他			0			その他	
				一般財源	235		0	235		一般財源	121
事業の内容及び成果・今後の課題											
■ 事業内容及び成果											
	内容	事業費(円)	内容・成果				今後の課題				
	講師謝金	170,267	社会人権同和教育研修講座謝金 2回分 47,911円 人権センターふれあい趣味の講座（習字、絵手紙、水墨画、日本語教室）講師謝金53,448円 雪ん子人権子ども会関係講師謝金 68,908円				・ 社会人権同和教育は、新型コロナの影響により人数をある程度絞って実施したが、ともに50人以上の村民の方が参加された。より多くの村民へ人権に対し啓発を行うために、会場の変更や、オンライン・放映による開催などを検討したい。 ・ ふれあい趣味の講座について、受講生はそれぞれ10人前後であるため、より新規の方に来ていただくように周知を行っていきたい。				
	旅費	3,300	社会人権同和教育研修講座講師旅費								
	需用費	47,560	消耗品 23,400円 社会人権同和教育研修講座等講師食事代 1,800円 バス燃料代 7,360円 人権教材費 15,000円								
	合計	221,127									

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	社会人権同和教育研修講座	回	3	3	100%	A	社会人権同和教育研修講座は、参加人数を絞っての開催とし、全3回の参加人数は174人となった。ふれあい趣味の講座、大人の社会科教室、ともに通常開催を行うことができた。				
	ふれあい趣味の講座（絵手紙、習字、水墨画）（開催回数）	回	9	9	100%						
	大人の社会科教室	回	1	1	100%						

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			